

2022年度

(2022年3月~2023年2月)

環境&社会貢献活動のご報告

Environmental Report
2022.3-2023.2



環境&社会貢献活動のご報告

マックスバリュ東海株式会社

経営企画本部

戦略部 広報・IR・社会貢献グループ

〒435-0042

静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町1295番地1

2023年10月 発行



「ふじのくに森の町内会間伐に寄与する紙」は、紙を使って間伐などの森林整備を助ける新しいCSR活動の仕組みです。



環境に配慮し、植物性インクを使用しています。

マックスバリュ東海株式会社 環境方針

マックスバリュ東海株式会社は、「何よりもお客さまの利益を優先しよう。」という企業理念のもと小売業として安全で安心な商品・サービスの提供と店舗づくりを行い、お客さまと同じ地域社会の一員として、地球環境への負荷軽減と保全に努めます。

1. 当社の営業活動にかかわる環境影響を常に意識し、環境汚染のリスクの軽減を推進するとともに、環境パフォーマンスの向上と環境マネジメントシステムの継続的な改善とその定期的見直しを図ります。
2. 生態系保護を含む自然環境保全に努めます。
3. 環境保全に関する法令の遵守(コンプライアンス)を約束し、受入れを決めた協定その他の要求事項を遵守します。
4. 以下の項目を重点管理テーマとして継続的改善(システム化)を図ります。
 - (1) 環境にやさしい商品・サービスの提供、店舗づくりを進めます。
 - (2) 営業活動における省エネルギー・省資源を推進します。
 - (3) 営業活動において予測される排出物に対し、発生抑制(リデュース)・再使用(リユース)・再資源化(リサイクル)を推進し、廃棄物の削減に努めます。
 - (4) 地球温暖化防止のための、CO₂の排出削減及び「植樹活動」に「地域のお客さま」とともに取り組みます。
5. この方針は当社で働く従業員、および当社の事業活動に関わるすべての人に周知され、一人ひとりが自らの役割を自覚し行動できるよう努めます。
6. この環境方針は社外に対しても広く公開・開示いたします。

2022年5月24日制定
マックスバリュ東海株式会社

ISO14001 認証店舗

226店舗で認証取得(2022年開店店舗除く)

ISO14001とは

環境マネジメントシステムに関する国際規格です。社会経済的ニーズとバランスをとりながら、環境を保護し、変化する環境状態に対応するための組織の枠組みを示しています。



ごあいさつ



代表取締役社長 兼 社長執行役員

作道 政昭

お客さまやお取引先さま、株主さまをはじめとしたステークホルダーの皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨今の地球環境問題への意識の高まりや、依然として不安定な国際情勢などの動きは、当社の属するスーパーマーケット業界に対して、大きな影響を与えております。このような中、当社は企業理念に「何よりもお客さまの利益を優先しよう。」を掲げ、東海エリアを中心に7県下で235店舗(2023年4月末時点)を展開し、地域の皆さまのお役に立つことが地域社会の発展・成長となり、当社の事業成長にもつながると考え、店舗をはじめとした様々な接点を活用し、「地域との共生を最も真剣に考える企業」を目指し、地域に密着した経営を推進しております。

例えば、地域社会への貢献の取組みとして、「ご当地WAON」や「ありがとうキャンペーン」などの継続的な取組みのほか、日々の暮らしのお役に立ちたいという想いから移動スーパーを開始しております。移動スーパーは、お買い物に不便を感じている地域の皆さまに、商品を直接手に取って選ぶ「お買い物の楽しさ」を届けることに加え、近隣にお住いの皆さまが定期的に集う「コミュニケーションの場」としても活用いただける取組みとなっております。また、地域で大切にしている伝統や風習を後世に伝えるとともに、地域を元気にしたいという思いから、各々の地元で長年親しまれている商品や地元企業さまが生産する商品など、地域に根差した“じもの商品”の品揃え拡充にも取り組んでおります。

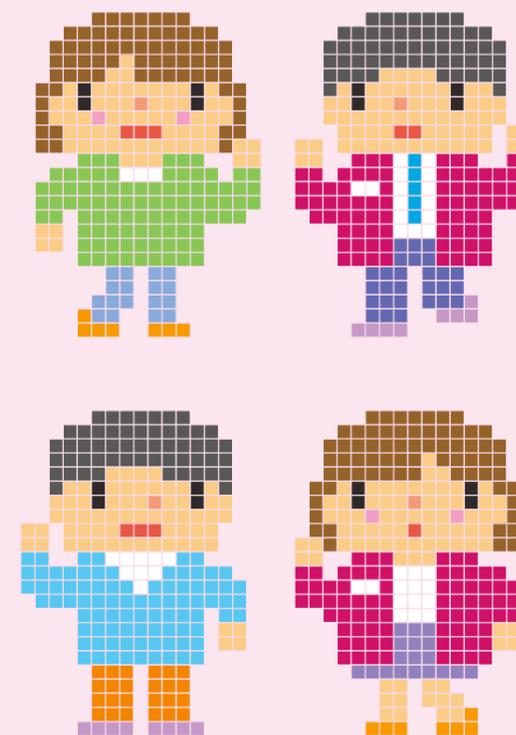
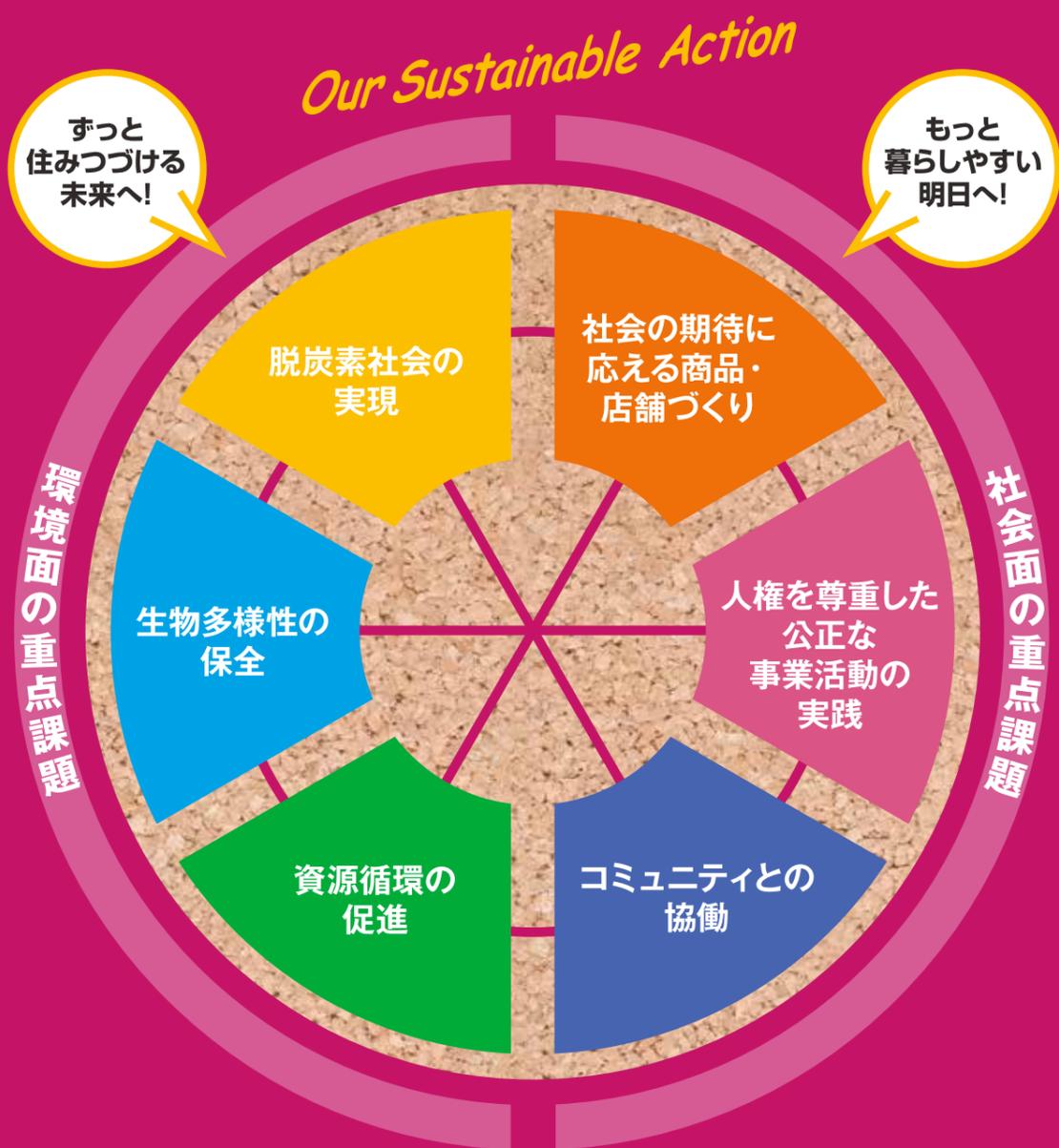
私たちは、今後もお客さまと同じ地域社会の一員として、ステークホルダーの皆さまとともに、社会課題に向き合います。そして、この解決を通じた持続的な地域づくりに貢献し続ける中で、当社だからこそできる新たな価値提供の創造に挑戦し続けます。

目次

P1	ごあいさつ 目次	P18	地域との交流活動でつながる。 高校生との商品開発 あなたが選ぶ!じものスター誕生
P5	イオン 脱炭素ビジョン2050 CO ₂ 排出量の削減/エネルギー効率の向上 再生可能エネルギーの活用 フロンの漏洩防止と自然冷媒設備の導入推進	P19	遠隔地やビジネスシーンとつながる。 移動販売 無人販売/Uber Eats
P6	脱プラスチックに向けた取組み レジ袋削減の歩み レジ袋収益金の寄付 世界にひとつだけのマイバッグ作り・あったらいいな!世界にひとつだけのマイバッグ スプーン・フォーク等の紙製・木製への切り替え はままつ脱プラスチック推進事業者	P21	公正な取引の実践 フェアトレード商品 ウェルネス経営の推進 仕事と子育ての両立支援(くるみん・えるぼし)
P9	持続可能な資源利用 MSC認証・ASC認証 トップバリュ グリーンアイナチュラル FSC認証	P22	ダイバーシティの推進 採用・雇用(新卒・障がい者・外国人・高齢者) 女性の活躍推進
P10	富士山環境保全活動 「富士山ありがとう」キャンペーン 富士山環境保全活動支援募金	P23	成長を支える教育制度 従業員の成長を支える教育制度を整備 社内認定資格制度
P11	地域のお客さまとともに イオン ふるさとの森づくり 植樹祭(MV裾野店) イオン ハートフル・ボランティア 中河原海岸清掃(三重県津市高洲町)	P25	お買物を通じて地域を応援 イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン ご当地WAON
P13	食品廃棄物の削減 磐田市食品ロス及びプラスチックごみ削減に向けた取組みに関する協定 ふじのくに教えて食品ロス削減投稿キャンペーン	P26	東日本復興支援 福島ひまわり里親プロジェクト 丸森町産干し柿の販売
P14	店頭でのリサイクル 店頭リサイクル回収状況 リサイクルステーション	P27	食育の取組み ちゃんごはんレシビ 大学生との共同開発弁当 SNSを活用した情報発信 ちゃんごはんSTUDIO 食育講座・健康キャンペーン
P15	リサイクルで社会貢献 クルボ ペットボトルキャップ収益金の寄付	P29	コミュニティとの協働 「愛知県ありがとう」キャンペーン 「三重県ありがとう」キャンペーン
P17	「おいしい」でつながる。 「じもの商品大商談会」開催 「じもの」トップバリュ		

環境と社会の両側面から、 持続可能な社会の実現を目指します。

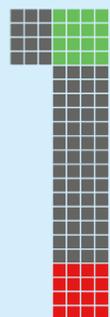
私たちマックスバリュ東海は、イオンの基本理念「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。」のもと、「持続可能な社会の実現」を目指します。取組みにあたっては、「環境」「社会」の両側面で、グローバルかつローカルに考え、出店エリア内の各地域に根ざした活動を、多くのステークホルダーの皆さまとともに積極的に推進してまいります。



いまできることを、一步一步 より豊かな未来へお客さまとともに

私たちは、事業活動を通して持続可能な社会の実現を目指すという考えのもと、食品小売業という事業特性を活かし、環境・社会の課題解決に向けた様々な取組みを進めています。その推進にあたっては、環境マネジメントシステムを運用し、定期的な見直しを行い、環境パフォーマンスを向上させるよう継続的に改善を進めます。国連総会で採択された2030年までの国際目標「SDGs(持続可能な開発目標)」も、積極的に取り組むべき課題と考えています。

action



脱炭素社会の実現

温室効果ガスの排出削減を進めています。

店舗で排出するCO₂などを2050年までに総量でゼロにすることをめざす「イオン 脱炭素ビジョン2050」にあわせて最終的には、事業で消費する電力を100%再生可能エネルギーに転換することを目指し、すべてのステークホルダーの皆さまとともに様々な取組みを進めています。

脱炭素社会の実現

イオン 脱炭素ビジョン2050

CO₂排出量の削減／エネルギー効率の向上

イオンは、2018年に策定した「イオン 脱炭素ビジョン2050」に基づき、「店舗」「商品・物流」「お客さまとともに」の3つの視点で、省エネ・創エネの両面から店舗で排出するCO₂などを総量でゼロにする取組みを、グループを挙げて進めています。



LED照明や店舗ソーラーで省エネ。リサイクルもお客さまとともに。



再生可能エネルギーの活用

太陽光発電設備を屋上に設置しクリーンな電力を生み出します。再生可能エネルギーのうち、太陽光発電設備の積極的導入をひとつの軸としてイオングループは脱炭素へ向けた施策を加速させていきます。



フロンの漏洩防止と自然冷媒設備の導入推進

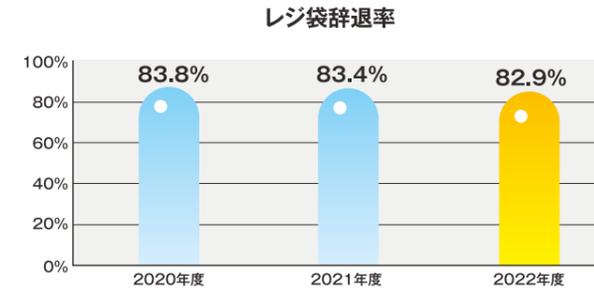
自然冷媒とは、もともと自然界に存在する水、空気、二酸化炭素、炭化水素などを使用した、環境負荷の少ない冷媒ガスの事です。その中で、炭化水素(HC)は主にプロパンガスを用いたR290、イソブタンガスR600aがあります。現在、欧州を中心として全世界で多く普及している冷媒で身近な製品としては家庭用冷蔵庫に用いられています。現状、多く使用されている冷凍冷蔵機器には地球温暖化(ODP)やオゾン層破壊(GWP)をもたらすフロン類が使用されており、自然冷媒への転換が課題となっています。



脱プラスチックに向けた取組み

レジ袋削減の歩み

当社では、お客さまにマイバスケット・マイバックを持参していただくことでレジ袋を削減する買物袋持参運動を2007年より行ってまいりました。この運動により、資源の節約・ゴミの削減・廃プラスチックによる環境汚染防止などが期待できます。2022年度のレジ袋辞退率は82.9%となっています。



プラスチックを減らすことは未来に夢を増やすこと。



レジ袋収益金の寄付

ゴミの焼却により発生するCO₂削減、レジ袋の原料となる資源の削減、河川に廃棄されたことによる海洋ごみの削減など、環境汚染防止の一環としてお客さまとともに取り組んだ活動の結果です。袋詰めの手間のいらぬ「マイバスケット」やお持ち帰り用の「お買物エコバック」を販売し、レジ袋の削減を積極的に推進しています。また、有料レジ袋販売による収益は、当社の店舗がある各自治体の環境保全に関する活動を行う基金やボランティア団体などに寄付しています。

2020年度～2022年度
有料レジ袋寄付金合計
11,533,496円

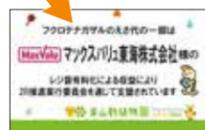
県・市	寄付先	レジ袋収益金
静岡県	静岡県富士山後継基金	3,336,476
愛知県(名古屋市を除く)	あいち森と緑づくり基金	797,041
名古屋市	2R推進実行委員会	1,495,505
三重県	公益社団法人 三重県緑化推進協会	1,474,099
岐阜県	公益社団法人 岐阜県緑化推進委員会	295,689
滋賀県	公益社団法人 滋賀県緑化推進会	206,800
神奈川県	かながわトラストみどり基金	843,125
山梨県	公益社団法人 やまなし環境財団	51,723
合計		8,500,458

県・市	寄付先	レジ袋収益金
静岡県	静岡県富士山後継基金	1,405,042
愛知県(名古屋市を除く)	あいち森と緑づくり基金	166,342
名古屋市	2R推進実行委員会	162,364
三重県	公益社団法人 三重県緑化推進協会	183,167
岐阜県	公益社団法人 岐阜県緑化推進委員会	38,556
滋賀県	公益社団法人 滋賀県緑化推進会	22,844
神奈川県	かながわトラストみどり基金	545,429
山梨県	公益社団法人 やまなし環境財団	12,614
合計		2,536,358

県・市	寄付先	レジ袋収益金
静岡県	静岡県富士山後継基金	277,406
愛知県(名古屋市を除く)	あいち森と緑づくり基金	31,800
名古屋市	2R推進実行委員会	32,977
三重県	公益社団法人 三重県緑化推進協会	35,095
岐阜県	公益社団法人 岐阜県緑化推進委員会	7,219
滋賀県	公益社団法人 滋賀県緑化推進会	4,675
神奈川県	かながわトラストみどり基金	106,028
山梨県	公益社団法人 やまなし環境財団	1,480
合計		496,680



名古屋市
東山動物園の動物スポンサー
(フクロテナガザル)



愛知県
人工林の間伐や里山林の整備



静岡県
富士の国づくりキッズ・スタディプログラム

世界にひとつだけのマイバッグ作り・あったらいいな!世界にひとつだけのマイバッグ

買物袋持参運動を知り、楽しんでいただくため、「みえ環境フェア2022」のイベントに出展し、「世界にひとつだけのマイバッグ作り」を開催しました。布製の手提げ袋に布製クレヨンで好きな絵を描いていただき、世界にひとつだけのマイバッグをお持ち帰りいただきました。また、MV川井町店、MV津城山店では「あったらいいな!世界にひとつだけのマイバッグ」企画を実施しました。専用の応募用紙に、あったらいいな!と思うマイバッグの絵を描いていただき、作品を店内に掲示しました。応募作品の中から、店長賞、優秀賞を選出し、副賞として各受賞者の絵を布製の手提げ袋にプリントしお渡ししました。



※買物袋持参運動とは…

お客さまとともに取り組む活動として、マイバスケット・マイバックを持参していただくことでレジ袋を削減する活動です。この活動を通じ、資源の節約・ゴミの削減・廃プラスチックによる環境汚染防止などが期待できます。また、バイオ原料を使用して作られたマイバスケットや、リサイクル原料を使ったマイバッグの販売も積極的に行っています。

スプーン・フォーク等の紙製・木製への切り替え

プラスチック資源循環などの取組み(3R+Renewable(再生可能))を促進するための「プラスチック資源循環促進法」が2022年4月より施行しています。

この法令は

- (1) プラスチック使用製品産業廃棄物(いわゆるプラごみ)の排出抑制・再資源化
- (2) 特定プラスチック使用製品(いわゆるカトラリーと呼ばれるスプーン・フォーク・ストローなど)の使用の合理化が求められます。当社は、レジでお渡ししているカトラリーの素材をプラスチック製から紙・木製へ変更しました。また、お客さま向けにワンウェイ(使い捨て)プラスチックの削減の啓発活動も行っています。

お買い上げ数量にあわせ
必要な分をお持ちください
資源をだいに未来へつなぐ

「プラスチック資源循環促進法」の施行にともなう
使い捨てプラスチック削減のため
環境配慮素材への切り替えを順次進めています。

必要なひとに
必要なぶんだけ。

すべてのプラスチックの製品が対象です。

プラスチックは、
えらんで、減らして、
リサイクル

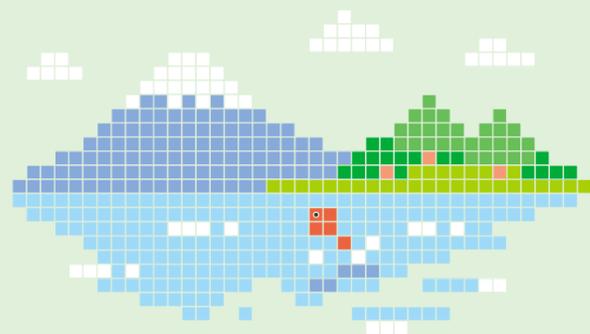
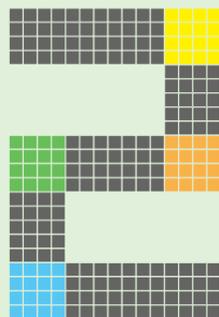
はままつ脱プラスチック推進事業者

海洋性プラスチックごみ問題など、環境汚染を防止するためには、プラスチック削減に向けて市民・事業者・行政が一体となって取り組む必要があります。浜松市(静岡県)は、「脱プラスチック」を推進していくため、使い捨てプラスチックの使用削減や、プラスチックごみ削減に関する啓発などに取り組む事業者(はままつ脱プラスチック推進事業者)の募集を行いました。当社は、はままつ脱プラスチック推進事業者の登録を2022年に行い、以下の取組みを行っています。

- 【取組み内容】
- ・店頭で啓発品を掲示
⇒お客さまに対してプラスチック削減の意識を高める。
 - ・事業者、浜松消費者団体連絡会、浜松市との意見交換会への定期的な参加。
⇒協議や情報共有を通じて官民連携による普及啓発や実証事業などを展開する。



action



生物多様性の保全

地域の生態系を守り、育み、活かしています。

事業活動を通じた生態系への影響と恩恵を把握し、地域に密着した保全活動を推進しています。さらに、植樹・育樹活動や、持続可能性に配慮し資源管理された商品開発・調達にも取り組んでいます。

生物多様性の保全

持続可能な資源利用

MSC認証・ASC認証

持続可能で社会的に責任ある方法により漁獲された天然水産物であることを示す国際認証「MSC認証」を取得した商品、環境や社会に配慮した養殖場で生産された水産物であることを示す「養殖版海のエコラベル」の「ASC認証」を取得した商品の販売など、限りある資源の保全につながる取組みを継続しています。グローバル基準に基づいて生産された商品の調達を推進することにより、真に「安全・安心」な商品をお客さまにご提供し続けるとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

世界の海の豊かな恵みを将来も!



資源や環境に配慮し適切に管理された漁業で獲られた証。



環境や社会に配慮し適切に管理された養殖場で育てられた証。



MSC認証の具材を使った環境にやさしいおにぎり



手巻きおにぎり 紅鮭



手巻きおにぎり 炙りたらこ



手巻きおにぎり 辛子明太子



手巻きおにぎり シーチキン

トップバリュ グリーンアイナチュラル

自然・生態系・社会との調和がとれた持続可能な畜産物の調達に努め、イオン自らも牛肉を生産することで安全でおいしい牛肉を提供し、安心して暮らせる食の未来の創造に貢献しています。タスマニアビーフは、素牛を自社草場で伸び伸びと育成し、肥育時期は島内の大麦、小麦を使用（遺伝子組み換え飼料は一切不使用）しているほか、飼料の約4割にタスマニア島内のポテト工場から発生する残渣を利用。さらには堆肥を作り、草地に撒いたりして、周辺のワイナリーや農園で活用いただいています。



2022年度
トップバリュ グリーンアイナチュラル畜産物販売点数一覧 (単位: 点)

タスマニアビーフ	841,682
純輝鶏	3,126,486



タスマニアビーフ



純輝鶏

FSC認証

リサイクル原料を使用したマイバッグや、プラスチックの削減に向けて紙や木材を使用した簡易食器など、トップバリュ環境配慮型商品の販売を通じ、お客さまとともにお買物を通じて環境保全につながる取組みを行っています。また近年、石油資源の枯渇やプラスチックごみによる環境汚染などの問題により、使い捨てプラスチックを見直そう、という声も高まっており、使い捨てプラスチックの削減と資源の持続可能な調達への取組みを加速するため、環境に配慮した商品の取り扱いを拡充しています。



生物多様性の保全

富士山環境保全活動

「富士山ありがとう」キャンペーン

「富士山ありがとう」キャンペーンは地産地消の推進及び富士山にゆかりのある商品の販売を通じて地域の活性化を図るとともに、富士山の美化・環境保全活動を応援する取組みです。静岡県に生産拠点をもつお取引先さまや地元生産者さまのご理解と多大なるご支援のもと、2011年2月23日の「富士山の日」にあわせてスタートし、翌年より同キャンペーンの売上の一部を静岡県へ贈呈してまいりました。2022年3月1日～2023年2月28日の期間に当社店舗でお客さまにご購入いただいた「富士山ありがとう」キャンペーン対象商品の売上の一部5,000,000円を富士山の環境保全活動にお役立ていただくため、静岡県の「静岡県富士山後継基金」に贈呈いたしました。2023年2月28日時点におきまして、ご協力いただくお取引先さまは224社、キャンペーン対象商品は1,126品目となります。当社は、これからもより地域に密着した店舗運営の実現を目指すとともに、美しい富士山を後世に残すため、お客さまとともに富士山の環境保全活動へ継続的に取り組んでまいります。



富士山環境保全活動支援募金

世界文化遺産である富士山の環境保全や美しい景観を維持していくため、2003年より募金活動を実施しています。この募金は、官民協働で富士山の環境保全に取り組んでいる「ふじさんネットワーク」（静岡県）により、富士山環境保全の啓発物の発行や、外来植物対策の強化の一環として外来植物の見分け方や除去についての指導などに役立てられています。また、「富士山憲章山梨県推進会議」（山梨県）では富士山環境保全につながる調査研究活動やパトロールなどにお役立ていただいております。今後も富士山の美しい景観を維持するためにお客さまとともに、この募金活動を継続してまいります。

年度	ふじさんネットワーク (静岡県)	富士山憲章山梨県推進会議 (山梨県)	合計金額
2020	400,463	72,485	472,948
2021	440,838	62,035	502,873
2022	539,653	81,466	621,119

2022年度 募金一覧表

(単位：円)

募金名称	寄付先	募金金額
イオン ウクライナ子ども救援募金	公益財団法人 日本ユニセフ協会	6,241,370
イオン ユニセフ セーフウォーターキャンペーン基金	公益財団法人 日本ユニセフ協会	680,849
24時間テレビ45「愛は地球を救う」募金	公益社団法人 24時間テレビチャリティー委員会	3,494,151
台風8号による雲見地区等の災害に関する義援金	松崎町	135,724
令和4年台風第15号災害静岡県義援金	静岡県	142,039
首里城 支援募金	一般財団法人 沖縄美ら島財団 首里城基金	708,750
全国子ども食堂 応援募金	認定NPO法人 全国子ども食堂支援センター・むすびえ	1,183,406
トルコ南東部地震緊急支援募金	駐日トルコ共和国大使館	2,651,046
トルコ・シリア大地震緊急支援募金	公益財団法人 日本ユニセフ協会	1,275,880
緑の募金 (三重県)	公益社団法人 三重県緑化推進協会	417,737
緑の募金 (滋賀県)	公益財団法人 滋賀県緑化推進会	82,360
緑の募金 (岐阜県)	公益社団法人 岐阜県緑化推進委員会	68,766
緑の募金 (愛知県)	公益社団法人 愛知県緑化推進委員会	570,059
富士山環境保全活動支援募金 (静岡県)	ふじさんネットワーク(事務局:静岡県 くらし・環境部 環境局 自然保護課 富士山・南アルプス保全班)	539,653
富士山環境保全活動支援募金 (山梨県)	富士山憲章山梨県推進会議(富士山ボランティアセンター)	81,466
葦山反射炉保全活動支援募金	伊豆の国市「葦山反射炉保全基金」	386,266
合計		18,659,522

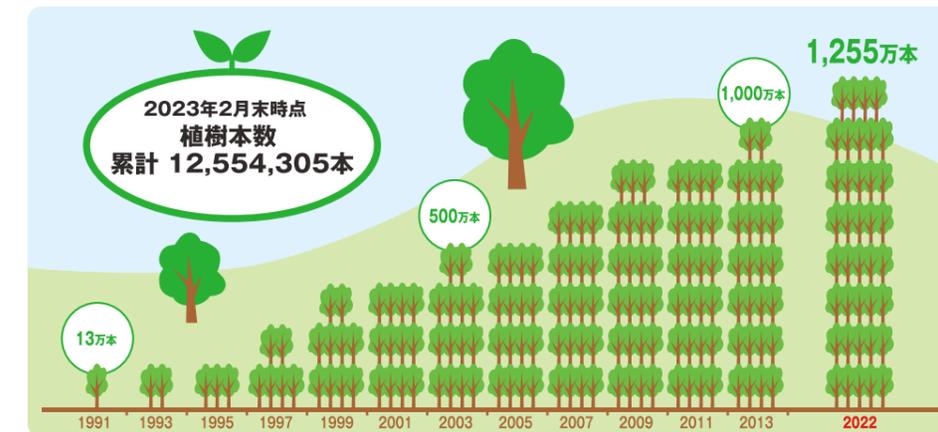
※店舗により、実施した募金が異なります。

生物多様性の保全

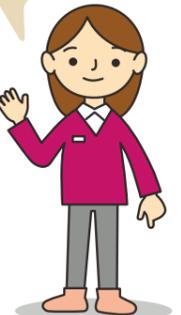
地域のお客さまとともに

イオン ふるさとの森づくり 植樹祭 (MV裾野店)

MV裾野店のオープンに先立ち、「イオン ふるさとの森づくり」植樹祭を開催しました。この植樹祭は、店舗が緑に生まれ変わる地域に届けたい場所になることを願い、その地域に自生する「ふるさとの木」の苗木を、地域のお客さまとともに植え、大切に育てていく活動です。当日は地域にお住まいのお客さまとともに「カンツバキ」「サツキ」「ジンチョウゲ」「ツツジ」など、6種類、約800本を植樹しました。



石油系原料やCO2排出の削減に役立っています。

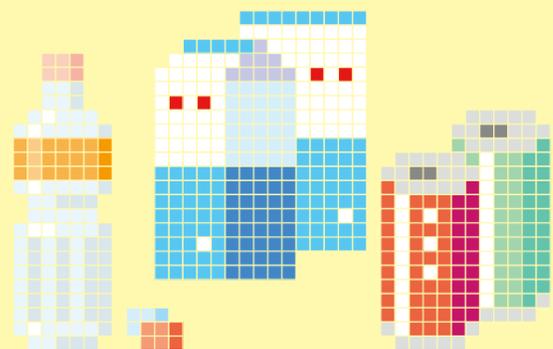
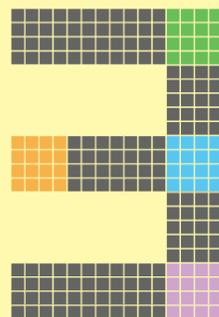


イオン ハートフル・ボランティア 中河原海岸清掃 (三重県津市高洲町)

本年度(2022年度)より、新しい社会貢献活動の取組みとして、地域に根差した活動を推進する「イオン ハートフル・ボランティア」をスタートしました。同取組みの第一弾として、海洋プラスチック問題解決のため全国10カ所で海岸清掃を行いました。東海エリアとしては、ウミガメネットワーク三重さまのご協力のもと、イオングループ従業員約100名が参加し、ウミガメの産卵が確認されている中河原海岸のプラスチックごみや流木を回収する海岸清掃を行いました。海岸清掃にて回収したゴミの重量は約19t(うち、流木約18t)となりました。回収した流木はバイオマス発電にお役立ていただきます。



action



資源循環の促進

食品廃棄物を削減し、資源リサイクルを推進

2025年までに食品廃棄物を半減するというイオングループの目標実現に向けて、資源のリデュース・リユース・リサイクルを推進するとともに、環境負荷の少ない原料・資材などの選択にも努めています。

資源循環の促進

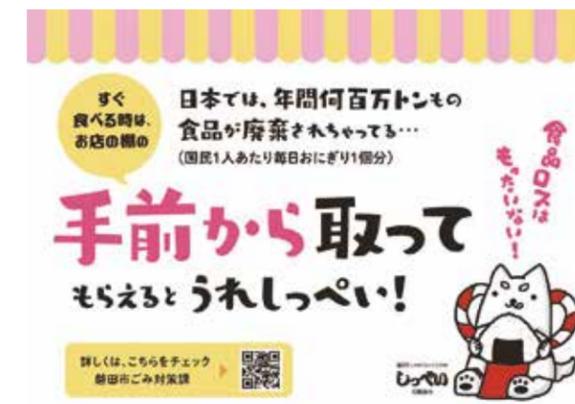
食品廃棄物の削減

磐田市食品ロス及びプラスチックごみ削減に向けた取組みに関する協定

食品ロスおよびプラスチックごみの削減に向けて、ごみの減量・資源化を推進していくため、磐田市（静岡県）と「食品ロス及びプラスチックごみ削減に向けた取組みに関する協定」を2021年に締結し、下記の取組みを磐田市内の店舗で実施しました。

【取組み内容】

- ・磐田市オリジナル「しっぺいの食品ロス削減POP」を設置
⇒食品ロス削減意識を啓発
- ・食品ロス削減値引きシールキャンペーンに参加
⇒消費・賞味期限切れによって廃棄される商品の削減を図る



磐田市提供

ふじのくに教えて食品ロス削減投稿キャンペーン

2022年10月～11月にかけて静岡県によって実施された「ふじのくに教えて食品ロス削減投稿キャンペーン」に参加しました(当社の静岡県内の店舗)。このキャンペーンは、静岡県内の企業と協力して、食品ロス削減のポイントである「かしこく買う」「使い切る」「食べきる」を県民に広く周知し、食品ロス削減の実践行動を促すことを目的としています。当社は店頭にてリーフレットとポスターを設置し、リーフレットとポスターに掲載された食品ロス削減ポイントを参考にして、実践している食品ロス削減対策やアイデアを応募していただきました。

「もったいない」を行動に!



店頭でのリサイクル

店頭リサイクル回収状況

ゴミの削減や再資源化のため、店頭で牛乳パック・アルミ缶・ペットボトル・食品トレーの回収ボックスを設置し、お客さまのご協力を通じたリサイクル活動を推進しています。回収物はリサイクル業者によって再び資源化されます。



リサイクルステーション

リサイクルステーションでは、古紙・ダンボール・ペットボトルの回収を行っています。WAONカード(電子マネー)をお持ちの方は、対象の回収品をお持ちいただくと量に応じてWAONポイントが付与されます。また一部の店舗を除いて、WAON POINTカードをお持ちのお客さまもポイントが付与される回収機を設置しています。2023年5月末時点で68店舗に設置しており、リサイクルに貢献しながらポイントが貯まるということでご好評をいただいています。



リサイクルで社会貢献

クルポ

静岡県では、県民の皆さまに、より身近に積極的に楽しみながら温室効果ガスの削減に取り組めるよう地球温暖化防止アプリ「クルポ」を活用し、県民運動「ふじのくにCOOLチャレンジ」を展開しています。また、県民の皆さまが行う、地球温暖化防止のための活動(脱炭素アクション)に対してポイントを付与しています。当社は、2020年4月1日より静岡県内の約100店舗に設置しているリサイクルボックスをご利用のお客さまへポイント付与の取組みを開始しています。この取組みによって、多くの皆さまが気軽に脱炭素アクションを実施していただいております。



ペットボトルキャップ収益金の寄付

地域の学校、ボランティア団体、企業、個人など様々な方々のご協力によりペットボトルのキャップを回収し、海外の子ども達にワクチンなどを提供するボランティア団体に寄付をしています。

2022年度 ペットボトルキャップ収益金寄付一覧

(単位:円)

寄付先	金額
公益財団法人 ブラン・インターナショナル・ジャパン	232,765
公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	232,765
認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会	232,765
合計	698,295

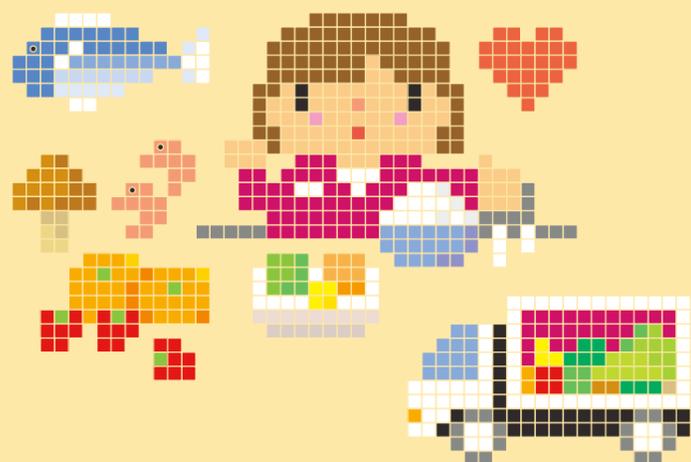
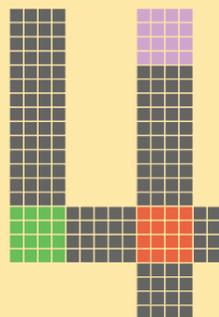


ラオス ワクチン接種会場に集まった親子



給食を食べる子どもたち

action



社会の期待に応える商品・店舗づくり

地産地消の推進で 持続可能な調達に努めます。

“じもの”の拡充などで地域活性化を進めるとともに、無人販売や移動販売などを本格的に展開。また、少子高齢社会に求められる健康づくりや食育に対するご要望にも積極的に取り組んでいます。

社会の期待に応える商品・店舗づくり

「おいしい」でつながる。

「じもの商品大商談会」開催

地域密着経営推進の一環として、地元で長年親しまれている商品や地元企業さまが生産する商品など、それぞれの地域に根ざした“じもの”の品揃え拡充に努めております。同取組みのさらなる深耕を図るため、2014年より「じもの商品大商談会」を開催しており、店舗のコミュニティ社員を中心とした店舗従業員が、ご出展いただく企業の担当者さまから直接商品の説明を受け、自店で展開する商品を選定しております。地域特性を良く知る店舗のコミュニティ社員の意見を商品導入に反映させることで、より地域に根ざした品揃えの実現を目指します。また、2022年度は、リアルとオンラインの両方で開催し、当日会場での商談会に参加することができない店舗従業員にも、商品情報の確認、サンプル要望などが行え、店舗従業員全員参加で商品の選定が可能となりました。



じものは、みんなの宝もの。



“じもの”トップバリュ

毎日の暮らしをもっと楽しく、確かな品質をお届けする「トップバリュ」のブランドを掲げた“じもの”の開発にも積極的に取り組んでおります。地域の美味しい“じもの”を後世に継承するお手伝いができるよう、地域とのつながりを深め、地域のお客さまに、より新鮮で安全安心な商品を提供してまいります。

ご当地のおいしさを、地域の笑顔に。

TOPVALU

遠州灘からの潮風をうける水はけのよい砂地で育てました。みずみずしく、辛味が少ないのが特長です。

トップバリュ 静岡県産 浜松市緑産地区 **遠州潮風新たまねぎ**

ご当地の生産者さま **彩ファーム 他**



トップバリュ 遠州潮風新たまねぎ



トップバリュ ミディトマト



トップバリュ 三河米豚



トップバリュ 数の子わさび



トップバリュ 富有柿

※画像はイメージとなります。

地域との交流活動でつながる。

高校生との商品開発

地域密着経営推進の中心的な取組みとして、食を通じた地域への貢献を果たすべく、各々の地域における“じもの”の開発と導入を積極的に進めています。地域活性化につながる取組みの一環として、三重県宇治山田商業高校、三重県松阪商業高校の生徒と商品を共同で開発しました。

【2022年度開発商品】



開発に携わった宇治山田商業高校の生徒



開発に携わった松阪商業高校の生徒



yamasho (ヤマショウ)
ポークカレー



クロワッサンサンド
(伊勢茶クリーム)



ドデカイラーメン
伊勢海老ラーメン味



三重県産マイヤーレモン
香るかつおの竜田揚げ



ニコにごシェア弁当

あなたが選ぶ! じものスター誕生

「あなたが選ぶ! じものスター誕生」は、お客さまをはじめ地域の皆さまとともに、じもの商品及び地域の活性化につなげたいとの想いから企画しました。静岡県のアリアごとに、地域に根差すメーカーさまが生産する商品合計30品目を販売し、ご購入いただいたお客さまからのアンケート回答の中から、ご支持が高かったじもの商品12品を対象店舗で販売し、地域の“おいしい”をお客さまへお届けしました。

※いただいたアンケートの回答につきましては、地元メーカーさまとお客さまとのコミュニケーションにつながるよう、今後の商品開発などに役立てていただきます。



遠隔地やビジネスシーンとつながる。

移動販売

当社の移動スーパーコンセプトは『わたしの近くまで運ぶスーパーマーケット』です。2022年4月、浜松市天竜区(静岡県)で1号車がスタートしました。約500品目の商品を専用トラックに積み込み、各停車場にてお客さまにお買物を楽しんでいただいております。お買物に不便を感じている地域の皆さまに、「実際に手に取って選ぶ、お買物の楽しさ」を届けることに加え、停車場は近隣にお住いの皆さまが定期的に集う「コミュニケーションの場」としても機能しております。このような取組みを通じて、浜松市(静岡県)より「令和4年度浜松市企業のCSR活動表彰特別賞」をいただきました。



【お客さまの声】

- ・販売員は今日のおすすめなどを紹介してくれ、買物しやすくなったと感じる。
- ・交流の場にもなっていると思う。
- ・畑仕事をしている中でも気軽に利用できるのがありがたいと感じた。
- ・移動販売がきっかけで外に出るようになった。
- ・思いのほか品物が充実しており、利用する地域の方は助かる。
- ・買物に来た地域の方のおしゃべりを通じ、買物以外の意味もあると感じた。



無人販売 / Uber Eats

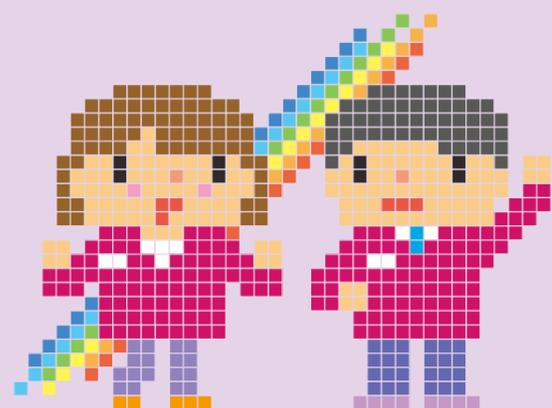
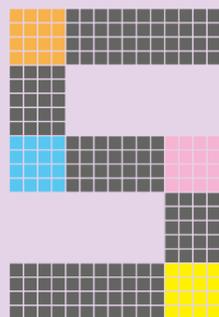
新たな店舗のかたちとして企業のオフィス内などにMaxマート(無人店舗)を展開しております。オフィスに出勤する従業員の皆さまの昼食などの需要に対応し、標準的な規模の場合、お弁当や軽食、飲物、文具などを品揃えしています。



愛知県内では25店舗、静岡県内では3店舗(2023年5月末現在)でUber Eatsを導入しております。生活スタイルの多様化に対応するため、お弁当・お惣菜などの即食商品をはじめ、生鮮食品、日用雑貨、ペットフードなど、約4,000品目の商品をご提案しております。



action



人権を尊重した公正な事業活動の実践

事業活動を通じて、 さらに豊かな地域社会へ

イオンの基本理念である「人間尊重」の経営を推進するため、事業に関わるすべての人々の人権に配慮し、人権が尊重される社会の実現を目指しています。従業員に対しても、人材こそが最大の経営資源であるとの信念に基づき、多様な働き方の実現を推進しています。

人権を尊重した公正な事業活動の実践

公正な取引の実践

フェアトレード商品

お客さまを主役に、イオンだからこそできる国際貢献の形として取り組んだものが「フェアトレード」です。フェアトレードとは、途上国などの立場の弱い生産者に、寄付ではなく、商品を適正な価格で継続して買い取ることで、生産者が自立できるように支援する貿易の仕組みです。適正な価格で買い取った商品を販売し、お客さまに購入いただくことで、継続的な支援を実現してまいります。



フェアトレード
ひとくちミルクチョコレート



フェアトレード
アーモンドチョコレート



フェアトレード
紅茶 ダージリン

開発途上国にも
自然環境にもやさしい商品!



フェアトレード
グアテマラブレンド



フェアトレード
コーヒーコロンビア



フェアトレード
紅茶 アールグレイ



グリーンアイ
オーガニックストロベリージャム



グリーンアイ
オーガニックブルーベリージャム

ウェルネス経営の推進

仕事と子育ての両立支援（くるみん・えるぼし）

当社は、子育てと仕事の両立支援として2016年度より両立支援のための制度の拡充、男性を対象としたワークライフバランス支援に取組み、2019年度には子育てサポート企業として「くるみん認定」を受けました。男性の育児休暇取得者は、同年度におきまして10名と増加の傾向です。特に同年度は男性社員が1年間の取得を実現しました。育児休暇復帰後は、個々のワークライフバランスにより働き方の選択肢として、「時間短縮勤務」を導入しています（0時間短縮から最大3時間短縮）。また、育児勤務中であってもキャリアビジョンを描いていけるよう個別面談の上で配慮し、活躍できる環境づくりにも取り組んでいます。現在、部門責任者や副店長、店長などの責任ある職位を担いつつ子育てに奮闘しながら多くの人が活躍しています。当社では「女性が職場で活躍しやすい環境を整備している企業」を厚生労働省が認定する「えるぼし」も取得しています。今後もさらに男女ともに働きやすく、働き続けられる会社を目指してまいります。



子育ても働き方もジェンダーフリーへ!

育児休暇取得率

年度	従業員区分	男性			女性		
		育児休業 取得人数(人)	配偶者が 出産した人数(人)	育児休業 取得率(%)	育児休業 取得人数(人)	出産した 人数(人)	育児休業 取得率(%)
2019年度	日給月給制社員	7	55	12.7	19	19	100.0
	コミュニティ社員	0	2	0.0	15	15	100.0
2020年度	日給月給制社員	6	44	13.6	21	21	100.0
	コミュニティ社員	0	2	0.0	24	24	100.0
2021年度	日給月給制社員	2	40	5.0	19	19	100.0
	コミュニティ社員	0	2	0.0	29	29	100.0
2022年度	日給月給制社員	10	33	30.3	16	16	100.0
	コミュニティ社員	0	0	0.0	33	33	100.0



ダイバーシティの推進

採用・雇用（新卒・障がい者・外国人・高齢者）

各地域の店舗運営において、コミュニティ社員の雇用形態を活用し、それぞれのキャリアビジョンとライフプランに対応した雇用を進めています。性別・年齢・国籍・障がいの有無にかかわらず、本人の適性と当社の取組みに共感いただける人材を募っています。新卒の定期採用はもとより、2019年には正社員・コミュニティ社員の定年を見直し、技術・能力を活かして、継続的に地域貢献できる制度に変更しました。2022年度における法定雇用率は、2.7%となっています。また、2013年より「静岡県障がい者技能競技大会（アビリンピック）」における販売実務競技の企画・運営を主催者より委嘱されています。



従業員数

	2019年2月期		2020年2月期		2021年2月期		2022年2月期	
	人数(%)	構成比(%)	人数(%)	構成比(%)	人数(%)	構成比(%)	人数(%)	構成比(%)
日給月給制社員	1,429	10.4	2,734	13.3	2,412	11.2	2,421	11.9
コミュニティ社員	12,342	89.6	17,849	86.7	19,062	88.8	17,882	88.1
合計	13,771	100	20,583	100	21,474	100	20,303	100

※頭数人員

女性の活躍推進

2022年度女性活躍推進に向けた当社のセミナー（※1）受講生が、当社が取り組む「ちゃんごはん」の想いをもとに、お客さまのニーズを考え、おいしく、健康を意識した、バランスの良い食生活をお客さまに送っていただくための1品として商品開発を行いました。受講生一人ひとりが、お客さま視点で、よりヘルシーに、より美味しく召し上がっていただくサラダを考案し、投票1位のサラダを商品化しました。

（※1）「女性活躍推進に向けたセミナー」は、女性が管理職を目指す意識を高めるために、小売業で働く上での基礎知識などを学ぶ社内勉強会です。



勉強会の様子



継続的な取組みが模範的な事例としてイオングループ内で評価され、「ダイ満足」アワードネクストステージ部門賞を受賞しました。

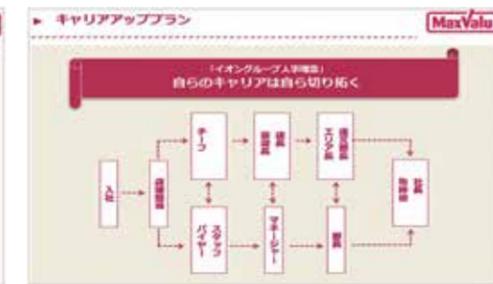


カラダよろこぶ12品目よくばりサラダ

成長を支える教育制度

従業員の成長を支える教育制度を整備

当社の教育制度は【OFF-JT】【OJT】【自己啓発】の3つを柱としています。【OFF-JT】では社内での研修はもとより、外部教育機関への派遣も多く、中でも50年以上の歴史あるイオングループの幹部育成研修には毎年数名～十数名を派遣、多くの卒業生が幹部社員として活躍しています。【OJT】では、現場教育の均一化・統一化を図るべく、新入社員～3年次の育成プランを作成し、現場へ共有します。これらを補完する教育として、本部が主管する現場強化研修では売場責任者（チーフ）クラスの育成に力を入れています。【自己啓発】ではイオングループのセルフスタディ制度を活用するとともに、余暇活用セミナーとして都市圏・郊外のエリアで話題の店舗を視察するなど、やる気と向上心がある従業員の視野・見聞を高める取組みを進めています。

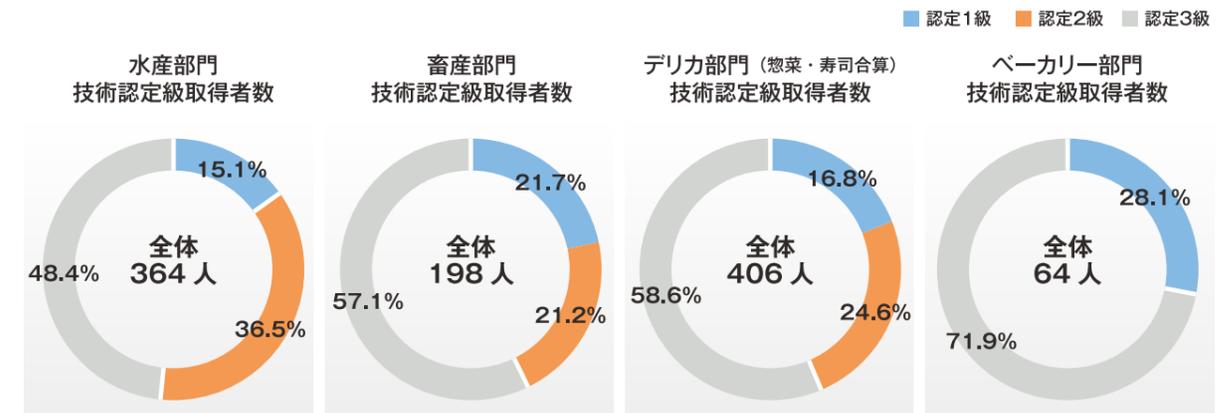


社内認定資格制度

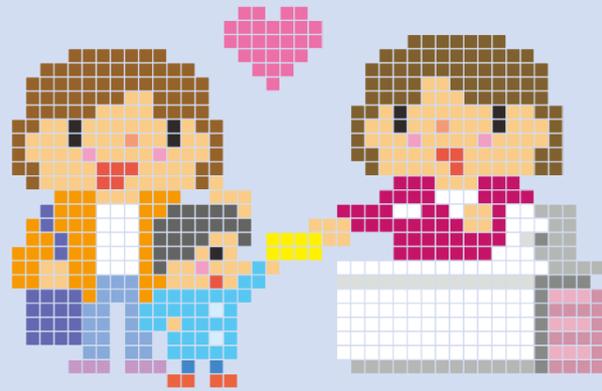
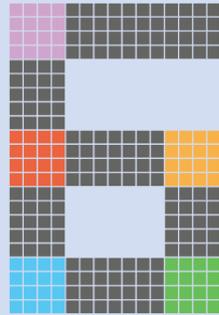
当社には生鮮・デリカ部門の技術認定級取得制度があります。上位級である1級から3級までの技術認定級があり、正社員、コミュニティ社員を対象とした認定試験を実施しています。

【技術認定級の目的】

- 「お買い物する喜び」どの店舗においても高い商品化技術により、おいしそうな商品を提供することができる。
- 「造る喜び」商品化技術を高めることで、商品に愛着を持ち、すぐれた出来栄えに喜びを感じることができる。
- 安全・安心な商品の提供とお客さまも従業員もおいしさを実感できる店舗（職場）の実現に努める。



action



コミュニティとの協働

店舗を基点に環境・社会への取組みを広げています。

お客さま、お取引先さまをはじめとする多くの方と地域密着のパートナーシップを築き、環境及び社会に対する様々な取組みを実践し、その輪を広げています。

コミュニティとの協働

お買物を通じて地域を応援

イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン

毎月11日の「イオン・デー」には、お会計時のレジにて黄色いレシートをお渡しします。お客さまにはお客さまが応援したいと思う地域のボランティア団体名が書かれた店内備え付けのBOXにレシートをご投函いただきます。ご投函いただいたレシートの合計金額の1%分を団体活動に必要な品物に換え、各団体に寄贈する仕組みです。サポートを必要としているボランティア団体と、「応援したい」という気持ちをお持ちのお客さまを結び取組みとして、多くのお客さまよりご協力をいただいています。

支える人を
支える仕組み。



イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン 助成金額

(単位:円)

年度	登録団体	実施店舗	助成金額
2020	1,631	209	17,468,000
2021	1,592	211	17,905,100
2022	1,531	213	16,980,500

ご当地WAON

ご利用金額の一部を自治体などに寄付させていただき、地域経済活性化や地域の環境保全、観光振興などにお役立ていただけるWAONカードのご利用を推進しています。

ご当地WAON

2022年度寄付金

(単位:円)

WAONカード	寄付先	金額
やまなし富士山WAON	山梨県富士山世界文化遺産保存活用推進委員会	2,306,943
しずおか富士山WAON	静岡県富士山後継基金	9,116,589
出世城浜松城WAON	浜松市森林環境基金	1,153,829
葦山反射炉WAON	伊豆の国市葦山反射炉保全基金	1,211,153
富士宮やきそばWAON	富士宮市ふじのみや寄附金	557,726
あいち三英傑WAON	愛知県文化振興基金	1,750,872
防災・減災都市なごやWAON	名古屋市消防・防災事業寄附金	628,674
伊勢志摩WAON	公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構	1,822,546
熊野古道伊勢路WAON	一般社団法人東紀州地域振興公社	1,219,282

ご利用金額の一部を、ホームタウンの活性化やクラブチームの成長にお役立ていただけるサッカー大好きWAONのご利用も推進しています。



東日本復興支援

福島ひまわり里親プロジェクト

2011年3月に発生した東日本大震災後、福島県の有志により始まった活動で、テーマは「福島県に「復興のシンボル」としてひまわりを植えよう」です。全国各地で里親さんが育てた「ひまわり」を福島県で復興のシンボルとして咲かせることによって雇用・教育・観光に繋げ、福島との「絆」を深めるプロジェクトです。2022年度は873名の当社従業員が里親さんとなり、47.7kgのひまわりの種を収穫し、福島県にお届けしました。



丸森町産干し柿の販売

東日本大震災の発生を受け、長期に渡る被災地の復興を支援するため様々な活動に取り組んでいます。その活動の一環として、2015年より定期的に宮城県丸森町耕野地区の皆さまと交流を続けております。当社の従業員有志が現地へ赴き、丸森町の特産である干し柿づくりのお手伝いを行い、一部店舗におきまして、本年収穫、加工した丸森町特産の干し柿の販売が実現いたしました。



食育の取組み

ちゃんごごはんレシピ

- おいしさ 笑顔に 健康に
3つのブランドコンセプト
- ① ちゃんとバランス良く食事をとろう
 - ② ちゃんと3食を食べましょう
 - ③ ちゃんと食事を楽しみましょう



「ちゃんごごはん」とはお客さまにおいしい食卓を提供することを通して、お客さまの健康的な生活や健康づくりに貢献する様々な活動のことで、「ちゃんごごはんレシピ」では旬の食材のおいしさや季節・歳時を感じながら、毎日の食卓をより楽しんでいただける、栄養バランスを考慮したレシピなどを紹介しています。



ブロックベーコンとアスパラの焼きサラダ



牛肉入りきゅうりと厚揚げの中華風炒め



ラタトゥイユ風ベーコンと野菜のナポリタン



最新のおすすめ
レシピはこちらから

<https://www.mv-tokai.co.jp/recipe-search/>

大学生との共同開発弁当

管理栄養士が監修した商品やマックスバリュ東海オリジナル弁当を販売しています。管理栄養士を目指す大学生と健康を意識した商品を共同開発しています。当社では、お客さまに健康でいきいきとした生活を送っていただくため、バランスの良い食事、すなわち「ちゃんごごはんを食べる」ことを知っていただく機会として、健康的な食生活のご提案や、食事バランスを考慮したお弁当や惣菜の紹介などに取り組んでいます。このような取組みの一環として、東海学園大学 健康栄養学部 管理栄養学科の学生と、手軽に美味しく野菜を摂れるような商品を共同で開発しました。今後も、健康でより豊かな食の提案を行うとともに、多様なつながりを軸として、地域活性化につながる取組みを実施してまいります。

2022年度に共同開発を行った商品の一例



鈴鹿医療科学大学 (三重県)
鈴華御膳 彩り野菜と豆のキーマカレー



鈴鹿医療科学大学 (三重県)
鈴華御膳 3種さのこあんかけ豆腐ハンバーグ丼



東海学院大学 (岐阜県)
各務原にんじんを食べよう! 生彩弁当



常葉大学 (静岡県)
静岡トコトコ旅気分! アジわい弁当



東海学園大学 (愛知県)
彩り野菜弁当



東海学園大学 (愛知県)
1/3日分の野菜と食べるガバプレート

食育の取組み

SNSを活用した情報発信

「ちゃんごはん ONLINE STUDIO」(YouTubeチャンネル)では、皆さまの食に対するお悩みやご相談にお応えしたり、旬の食材などを活用したマックスバリュ東海おすすめのレシピを紹介しています。



ちゃんごはんONLINESTUDIO
YouTubeチャンネル
https://www.youtube.com/c/ONLINESTUDIO_mvtkai/about



ちゃんごはんSTUDIO

ちゃんごはんSTUDIOでは、“想いを形に。おいしいでつながる。”を体感していただく場として、食と健康に関する情報や、当社の商品・旬の食材のおいしい食べ方を発信するとともに、調理方法なども体験していただける場となっています。



千種若宮大通店ちゃんごはんSTUDIO 沼津南店ちゃんごはんSTUDIO 当社従業員による食育講座

食育講座・健康キャンペーン

当社の従業員が、学校や幼稚園などの在籍者を対象とした食育講座や、一般の方を対象とした各市町のイベントなどにおける食育講座を開催しています。また、お客さまご自身の健康について意識を高める目的で自治体と当社が共同した健康キャンペーンを店舗にて実施しています。

- 2022年度：食育講座30件 対象：保育園・幼稚園・小学校
- 健康キャンペーン3件 開催場所：浜松市、沼津市、富士市（いずれも静岡県）



コミュニティとの協働

「愛知県ありがとう」キャンペーン

「愛知県ありがとう」キャンペーンは、地産地消の推進及び愛知県にゆかりのある商品の販売を通じ地域の活性化を図るとともに、同県における環境保全活動を応援する取組みです。2022年3月1日～2023年2月28日の期間に当社店舗でお客さまにご購入いただいた「愛知県ありがとう」キャンペーン対象商品の売上の一部1,812,187円を愛知県の環境保全活動に役立てていただく目的で同県「環境保全基金」に贈呈しました。



感謝状贈呈式 (2022年12月22日)

「三重県ありがとう」キャンペーン

「三重県ありがとう」キャンペーンは、地産地消の推進及び三重県にゆかりのある商品の販売を通じ地域の活性化を図るとともに、「三重とこわか健康マイレージ事業（三重県が進める県民の皆さまの健康づくりを社会全体で応援する取組み）」を応援する取組みです。2022年3月1日～2023年2月28日の期間に当社店舗でお客さまにご購入いただいた三重県ありがとうキャンペーン対象商品の販売金額の一部2,123,343円を、「三重とこわか健康マイレージ事業」に役立てていただく目的で三重県に贈呈しました。

---【三重とこわか健康マイレージ事業】---

県民の皆さまが食生活や運動習慣の改善、特定健康診査やがん検診の受診など、市町が実施する「健康づくり取組メニュー」に参加することでポイントを獲得し、一定のポイントを獲得した方には「三重とこわか健康応援カード」が交付され、「マイレージ特典協力店」で提示することにより、さまざまな特典サービスを受けることができる制度です。寄付金は、同事業への啓発活動などにお役立ていただいております。



感謝状贈呈式 (2023年2月16日)

環境と健康を
守り続けるために。

